片貝新聞

発行所
片貝新聞社
〒947-0101
小千谷市片貝町10367-4
TEL　0258-84-3246
FAX　0258-84-2632
編集発行人　吉原芳郎
印刷所　吉原印刷㈱

題字　黒崎敬湶氏

JA片貝町
シンボルマーク
天の恵み地の恵み

市が今年度の目玉施策として
消防団拠点施設建設計画
消防力強化を狙って

片貝地区の消防活動をより強化するために、小千谷地域消防本部では、現在三カ所に配置している第八分団のポンプ車などを一カ所に集中する「消防団拠点施設建設工事」を平成十三年度に行う。

現在第八分団の消防団員は80名で第一部と第二部で構成されており、第一部は一之町（駐在所隣）に小型動力ポンプ積載車と二之町（支所前）にポンプ車、第二部は三之町に小型動力ポンプ積載車を配置している。

計画では、火災等でポンプ車や積載車が出動する時は、消防団員が最低4名程度必要であるが、三カ所に分散していると4名集まるのに時間がかかるので、現在三カ所に分散している消防団拠点施設を、屋敷地内の旧魚沼線跡地の四〇〇平方㍍の敷地一カ所に集中させることにより、効率化を図ろうとするもので、施設は鉄筋コンクリート二階建てで、一階は車三台が入る車庫で、二階は会議室とする建物。延床面積は二四〇平方㍍で、総事業費は五二五〇万円が計上されている。

また、鴻巣地区と池津地区の消防力強化策として、小型動力ポンプの積載用として、軽自動車が配置される。

▼春の陶芸教室（片貝公民館主催）＝が今年も6月3日日曜日午前10時から午後3時まで、片貝公民館二階ホールで開催される。講師は小千谷市上ノ山の佐藤守氏。参加費は千円で、当日はタオル、エプロン、ビール空缶、新聞紙、手拭い、木の葉（大・小）等を持参。担当者は「昨年参加した方も、初めての方も、お友達と誘いあって、多数の参加をお待ちしています」と呼び掛けている。尚、参加を希望する方は5月24日までに片貝公民館☎84―2026へ。

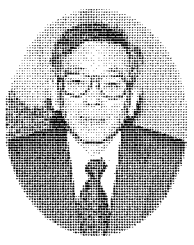
今年もリサイクル

資源の有効利用とゴミ減量を目指して積極的に活動している「リサイクルかたかい」は今年一回目の活動を去る4月1日午前9時から片貝支所前で開催した。

当日は雪の降る悪天候にもかかわらず、今年初めてとあって、会場の支所前には時間前から、発泡スチロール、ダンボール、新聞紙、雑誌等を自家用車や一輪車で持参する人たちで賑わっていた。

リサイクルかたかいでは今年も11月まで毎月第一日曜日に収集活動を計画しており、5月の収集活動は6日の日曜日午前9時から9時30分まで片貝支所まえで実施。関係者は「発泡スチロール・トレイの大型の物は市の回収の時出して下さい。ダンボール、新聞紙、チラシ、雑誌等の紙類は別々に束ねて下さい。今年は市の回収の時出して下さい。ダンボール、新聞紙、チラシ、雑誌等の紙類は別々に束ねて下さい。今年

協議会長に川上氏就任



去る4月15日(日)午後2時からふるさと会館で片貝町協議会総会が開催され、新しい協議会会長に鴻巣の町内会長の川上東陽氏が満場一致で決まり、川上協議会々長が誕生した。

吉井陽前協議会々長は平成7年4月に就任して三期六年間（一期二年）協議会長として、旧佐藤邸跡地購入問題、片貝ふれあい公園、片貝バイパスの早期完成などの大きな問題を持ち前のバイタリティーであたっていた。なお、新旧会長の事務引継が4月21日行われ、片貝町協議会は川上会長を中心とした、新しい体制でスタートした。

新協議会長決る

今年度の片貝町協議会長に鴻巣の川上東陽氏が決った。氏は昨年10月小千谷土地改良区理事長にも就任、勤め人より少しは時間的余裕があるとはいえ、どちらも多忙をきわめる役職、健康に留意され停滞した片貝町の活性化を図るべく先頭にたって大いに指導力を発揮してほしい。

また少ない手当で批判だけは一人前という誠にやりづらい環境の下、六年もの長きにわたり活躍された前会長吉井陽氏にも心からその労をねぎらいたい。就任するまでは貴方でなければ二進も三進も行かないような持ち上げ方をし、いざ就任し他の職務を依頼したりすると「どうも私は忙しすぎて」とか「私はその器でない」等と適当な口実をもうけて逃げ回るという片貝人特有のいやらしさがある。従って就任時それならと意気込んでも協力も得られず挫折を余儀なくされる。さらにあろうことか人に頼んでおいて「あの人は役員になりたがる」とか、酷いのは「長と名がつけば何でもする」等と揶揄するにいたっては、それこそなにおかいわんやである。せめて協力が無理なら邪魔だけはしてほしくないというのが当事者の本音だろう。いちばん無難なのは何もしないこととばかりに消極的な姿勢になるぬよう少なくともその年に役員に巡り合わせた人たちがお互い力を合わせ、会長を中心に会を守り立てて行くだけでも片貝は大きく様変わりすると思う。

主張

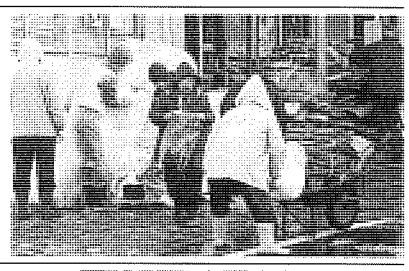
片貝は市内で最も人口、世帯数とも減少が激しく、とくに人口は六千人の大台を割り込み年寄二人だけの世帯が増えつつある現状では何一つやるにも大変である。またユニクロのような商売が栄えるという商環境の変化や大型店舗の進出などによって、片貝でも今まで通り商売の継続が困難な状態にあり、規定通りの商店街が既に成り立たないという環境にもある。

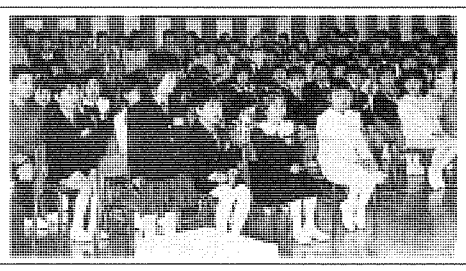
昨年暮れ市の都市計画の関係もあって短期間でまとめた大型複合施設の問題が協議会にとっては今後最重要な問題になるであろう。

提出された大型複合施設の要望は大雑把なものであり、なかには花火会館の構想を云々する人もあるやに聞いているが、そのことは協議の際にもあって、誰がどうするのか、予算規模や負担さらに片貝の活性化も含め商工業の発展も考え、時間をかけて別の角度から再検討すべき問題であるということで、取り敢えず町民が平穏に生活するに差当って必要だと思われる点に絞ってまとめたものと聞く。何も陳情はあの一回で終ったわけでなく、今後大多数の町民が必要とするものについては当然協議会ではかられ、然るべき処置が取られるものと思う。

協議会長が誕生したのを機に今まで悪しき風習といわれ続けてきた、他人まかせの態度や現実性のない批判などはこの際改めるべきであろう。幸い手当だけはほんの少し増額になったようだがまだ不完全で、いろんな面を見直しよりよい協議会となるよう皆んなで応援したいものである。

ピカピカの一年生が入学





片貝小学校（福原博夫校長）では、去る4月6日(金)午前10時から平成13年度の入学式を行った。

今年ピカピカの一年生になった男子18名、女子27名、計45名の子供たちは希望に胸をふくらませ校門をくぐり、新しい小学校生活をスタートさせた。

今年も昨年同様入学式当日は好天に恵まれ、新一年生たちは校門の前で、お母さんや友達と一緒に記念写真を撮り、これから六年間暮らす校舎へと進んだ。式典会場では先生方を始め在校生、父兄等の大きな拍手に迎えられ入場。担任の先生が名前を呼ぶと新一年生は大きな声で「ハーイ」と元気よく答えていた。また、式典終了後はお母さん達や校長先生、担任の先生と一緒にクラス全員での記念写真のモデルとなっていた。

「市民皆さんのご協力を」も町民皆さんのご協力を」と語っていた。

JA片貝町役員選挙
無投票で理事、監事決まる

JA片貝町の役員選挙の告示、立候補受け付けが4月18日に行われ、理事は定員ちょうどの十名、監事も定員ちょうどの三名で、共に無競争当選を果たし、5月22日行われる総代会終了後、新しい役員体制がスタートする。新理事と新監事は次のとおり。敬称略。

＝理事＝

佐藤昌佳（47、高梨、新）、大平和芳（61、五辺、再）、大平信雄（53、五辺、新）、五十嵐俊雄（57、鴻巣、新）、小宮恒夫（69、一之町、再）、安達榮次郎（71、五之町、再）、友田明石（60、四之町、再）、堀井一位（68、池津、再）、倉田建二（65、屋敷、新）、藤塚直枝（71、町裏、再）。

＝監事＝

佐藤裕之（65、高梨、再）、横山省三（66、町裏、再）、丸山良司（61、稲場、新）。

新緑を歩こう
JA片貝町主催

第4回片貝町健康ウォークがJA片貝町、JA女性部主催、片貝町体育協会、片貝公民館、若杉会歩こう会後援で今月の第三日曜日の20日、JA片貝町生産課広場スタートとゴールで開催される。

当日は小雨決行で、生産課広場で午前8時より受付開始、午前9時出発で参加費は無料、完歩者には完歩証を発行し参加者全員に記念品。コース途中の太田ダムではスポーツドリンクを無料進呈。又、ゴールの生産課広場ではウォーク汁無料進呈。

コースはJA片貝町広場スタート⇩バイパス⇩高速道路脇⇩松下電送⇩坪野⇩山谷小学校⇩太田ダム（休憩場所）⇩山谷小学校⇩坪野⇩松下電送⇩JA鴻巣支所⇩町裏⇩バイパス⇩生産課広場ゴールの11㎞。

「今年は比較的平坦なコースを計画しましたので、家族そろっての参加を」と大矢総務課長。

▽受講生募集＝片貝在住の女性を対象にした「くらしの学級」が片貝公民館の主催で、今年も5月から11月の木曜日の午後7時15分から9時15分まで、片貝公民館ホール等で11回開催される。担当者は「毎日の暮らしに役立つことを学び、自分の視野を広げてみたい方、気軽に参加を…」と呼び掛けている。

今年もみたらせ祭り
四之町が5月27日に

初夏を呼ぶ「第4回みたらせまつり」が5月27日(日)午後2時から、四之町集落センター付近の〝みたらせ〟を中心とした会場で開催される。

この催しは町内の融和をはかることを目的として、地元有志が実行委員会（代表相崎定夫）を組織して、四年前から始めた催しで、各自手作りのわたあめ、メダカすくい、やきとり、みたらせダンゴ、そば、たこやき等の露店が多数出店。又、舞台では地元有志による謡曲、踊り、片貝伝統芸能保存会による巫女爺、五之町の神楽舞、池津の新保広大寺等の盛り沢山の演芸や誰もが参加出来る野点が開席される。相崎代表は「四之町表通りの商店や実行委員の販売する引替券を求めて、四之町商店会協賛による、豪華賞品の当たる大抽選会が行われる《みたらせまつり》に気軽にお出かけ下さい。お待ちしております」と呼び掛けている。

クラス対抗ゴルフ大会
6月17日小千谷CC

第5回片貝町クラス対抗ゴルフ大会が片貝町クラス対抗ゴルフ会（会長佐々木正二）の主催で、来る6月17日(日)小千谷CCで開催される。

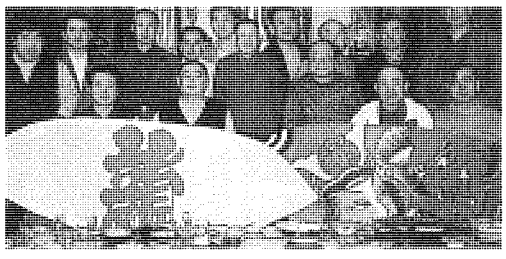
この催しは5年前にゴルフを通して各クラスの親睦を図ることを目的として始められた大会で今年も次の様な要項で開催するので多数のクラスの参加を…と主催者は呼び掛けている。

▽競技方法はダブルペリア方式とし、ゴルフ場のルールを適用。▽1クラス6人を原則とし、各クラスのネットの平均値で順位をきめる。▽各ショートホールでワンオンしない場合は罰金三百円。▽H・C・Pは40マデ。▽参加費は一人千五百円。▽懇親会費用は各クラスの順位により負担。その他詳しいことについての問い合わせと申し込みは片貝工業㈱☎84―2078か㈱片貝製作所☎84―2322へ。

凧上げ大会盛況

去る4月8日午前8時30分から、沼田地区内で白鳩日曜学校、同日校OB会の共催で今年も盛大に、凧上げ大会が行われた。

この催しは昭和51年から毎年4月に行われている行事で、今年も凧が保管してある正順寺にOB会の相崎定夫会長を始め十数名のOBが集まり、凧の張り替え、修理などをおこない、小千谷から凧名人東利一氏を招き凧上げに挑戦。当日は天気良し、風良しの凧上げ日よりとなり、大小さまざまな「六角・盃・鳥凧」いっせいに上がり子供たちを始め大人も大喜びで、会場は大変な盛り上がりであった。終了後は正順寺にて東氏を囲んで「凧談儀」に花が咲く反省会となった。尚、白鳩日曜学校は昭和21年頃に正順寺の先代住職が始めた学校で、現在も現住職が引き続き開校している。西脇法英住職は「毎年一年に一回行っている行事ですが、雪や雨が降ったり、風がなくて中止した年もありましたが、今年は幸にして大変良い気象条件に恵まれ、春の青空に色々な凧が舞い上がりとても良い気分でした」と笑顔で語っていた。



かたかい春秋

桜前線がやっと来たと思ったら、去るスピードも速い。アッと言う間に散って葉桜となってしまった。その散り際のいさぎよさが、日本人の心を捉らえて離さないのであろう。▼自民党総裁選挙が終わった。最大派閥の意向とは異なる結果となったとのこと。しかし、数の論理を敵視するような論調がまかりとおるのも、おかしなことだと思う。多数決は民主主義の根幹をなすものである以上、これを否定するような物言いは慎むべきであろう。▼国民の代表として選出され、その人達の多数決によって物を運ぼうとする方法論は間違ってはいまい。ただし、その代表達が民意と著しくかけ離れた思考によって判断する場合、国民は激しく拒否反応を示す。今回の総裁選がその例証なのだろう。▼派閥に属すると、庶民感覚や民意が分からなくなってしまうのではなかろうか。国民のため、国益のためという意識がなくなり、党のため、派閥のため、自分のため、とどんどん小さな範囲のもののための思考回路に陥ってしまうのだろう。▼国民の人気が高いからと言って、それを以って良しとする程、政治家の道は甘くないことも、国民は自覚すべきだ。大衆迎合に陥り易いからだ。大衆迎合から生まれる物は、大抵ろくな物がない。時には苦いことも敢えて口にせねばならぬことがあるのは当然だ。そんな感覚で政治を見る目が必要な時代ではあるまいか。▼さて、小千谷市議会の議長を初めとする人事はどうなっているのであろうか。噂は聞こえてくるが、本当のところは分からない。今もって見えない所での暗闇や醜いかけひきがあるのだろうか。五月の青空のようにスカッといかないものか。

片貝に着任しました

【小学校】

▽西蒲・西川町立鎧郷小学校から　荒川　隆一＝このたびの異動で片貝小学校にお世話になることになりました。生活拠点地は新潟市ですが16年もの間、西蒲原郡の学校に赴任しておりました。北蒲・西蒲の他は経験がありません。

そういう意味では、はじめての中越の学校に勤めさせていただきます。「日々新たなり」という新鮮な気持ちでいます。

片貝小学校に赴任して思うこと①子どもたちが素直で、礼儀正しいこと。②保護者の皆様をはじめ地域の皆様が学校に協力的であること。③伝統に培われた地域であること。

そういう片貝小学校に赴任することができ嬉しく思っています。

教務主任として学級の担任になれませんが、3年生を中心に授業に出て、その他2・4年生の一部の授業を受けもちます。

どうかよろしくお願いいたします。

▽はじめまして……　本間　直子＝片貝と言えば、花火。日本一の四尺玉。そして、パワーあふれる熱血の町。そこで育つ子どもたちは、どんな子どもたちかなあと、わくわくする気持ちで、片貝小に赴任して参りました。

元気な一年生担任となりました。すべてにおいて、スローモーな私にとっては、まさに、てんてこまい・てんやわんやのスタートでした。でも、子どもたちは、素直で純粋で、毎日がとても楽しいです。

下校指導で、一年生と片貝の町を歩きました。雪の残る杉林がありました。風に揺れる木々と雪どけの氷の音の中、子どもたちは、つくしを見つけたり、ふきのとうを見つけたりしながら、歩いていきます。その姿に、「杉よく育ち、松茂る　このよき郷の　子等いかで…」と、校歌の一節が浮かんできました。

子どもと共に頑張ります。

▽藤木　浩明＝片貝町の皆様はじめまして。今度、縁あって片貝小学校にお世話になることになりました。出身は小千谷市の隣の十日町市です。

始業式の日、6年1組担任として紹介され、子供たちの前に立ったときは、本当に胸がどきどきしました。教室に入って一人一人の名前を呼ぶと、どの子も明るく元気な返事をしてくれました。6年生は、今まで以上に友人関係が重要な意味をもち、子供たちの生活に大きくかかわってきます。子供たちの姿をしっかり見つめ、よい仲間作りができるように保護者の皆様と力を合わせ頑張りたいと思います。

また、他の学年の子供たちの顔と名前を早く覚え、楽しい学校生活が送れるようにしたいです。どうぞよろしくお願いします。

▽山川　和子＝この度の異動で片貝小学校にお世話になることになりました。

出身は、吉田町です。十年前小千谷に嫁ぎ、現在城内に住んでいます。

「おはようございます。」毎朝大きな声で、あいさつをしてくれる子どもたち。その明るい声にパワーをもらって、勤務しております。

土曜日の放課後のことです。グラウンドに駐車してあった車を動かしてほしいと、六年生が頼みに来ました。車を移動させ、もどってくると、その子たちは、「ありがとうございました。」と、帽子をとって一礼し、走っていきました。そのさわやかな姿に、片貝っ子のすばらしさを感じました。そして、片貝っ子が一ぺんに好きになりました。

〝明るく、楽しく、ルンルン と！〟をモットーに、いつも笑顔でがんばりたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

▽小森　康貴＝このたび、片貝小学校にお世話になることになりました。六日町の八海山のふもとから来ました。出身は、秋田県秋田市です。片貝といえば、4尺玉の花火が有名ですが、秋田は、きりたんぽ鍋や竿灯祭りが有名です。片貝のみなさんは、知っていますでしょうか？

私は、趣味が3つあります。①釣り②プロレス観戦③料理です。その中でも特に夢中になっているのが釣りです。昨年まで山のふもとにいたにもかかわらず、海釣りが大好きです。ひまがあると海に出かけます。土・日はほとんど海にいます。しかし、狙っている魚は、1年に1～2匹しか釣れません。「こんなに釣れないのに何が楽しいのだろう？」と思うこともしばしばですが、今年も負けずに海に出かけたいと思います。

この片貝で、地域の人たちに学びながら、子供と一緒に成長できることを楽しみにしています。

▽金田　智和＝はじめまして。この度、片貝小学校でお世話になることになりました。金田智和です。出身は山形県ですが、大学は新潟大学で、4年間新潟市で暮らしていました。私は今年新採用ですが、何年かまわり道をしたので、新潟でもう教師をしている友人も多く、大変心強く感じています。

よく、体格からは想像できないと言われるのですが、中学、高校とバスケットボールをしていました。片貝はバスケットボールが盛んだと聞いたので、子どもたちとするのが楽しみです。

また、実家は雪深いところなので、スキーも小さい頃からやっているのですが、上から下に滑るスキーばかりで、平らなところを滑るスキーはできません。片貝にいる間にダイエットも兼ねて、軽快に滑れるようになりたいと思っています。がんばりますのでどうぞよろしくお願いします。

▽古谷　陽子＝このたび新採用として片貝小学校に参りました、古谷陽子です。4年1組の担任になりました。

出身は西蒲原郡吉田町ですが、ここ3年ほどお祭りの時期には花火を見に片貝に来てましたので、今回片貝小学校に着任することができて大変うれしく思っております。

片貝の子どもたちは元気がよく、挨拶がさわやかで、歌がとっても上手！というのが私の初日の印象です。こんな素敵な子どもたちと一緒に活動することができるんだと思うと、期待に胸が弾みます。早くみんなとたくさん遊んで、仲良くなって、いい人間関係を築いて行きたいと思っております。

小学校勤務も初めて、一人暮らしも初めてと初めてづくしで少々緊張しておりますが、子どもたち以上の笑顔とパワーで頑張ります。よろしくお願いいたします。

▽十日町・吉田小学校から　柳田　恵美子＝このたび中野先生の代わりにお世話になることになりました。出身は大凧で有名な白根市です。縁あって市内吉谷に嫁ぎ、自宅から通っています。

前任校の吉田小学校は全校児童75名という小さな学校でした。

片貝小学校は児童数が283名で約四倍近い大きな学校に戸惑いを感じています。

一日でも早く、子どもたちの名前を覚え、仲よく楽しい学校生活を送り、できれば、「学校のお母さん」になれるように頑張っていきたいと思っています。

趣味は、花を見に登山することとお菓子作りです。今は、焼プリンとチョコブラウニーにこっています。機会がありましたら、ご一緒したいです。

明るさだけが取り柄の私ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

▽市内塩殿小学校から　管理員　佐藤　淳一＝前任校は全校児童43名の小さな学校でしたので今は少々とまどっています。

早く慣れ、少しでも良い環境を整美していきたいと思っています。

まだまだ未熟者ですのでご指導、ご協力の程よろしくお願いします。

▽調理員　安部　詩子＝東小千谷小学校から異動して来ました。子供達の給食の調理を手伝いさせて頂きます。地域の皆様方の暖かい気持ちで迎えられて、健康で、楽しく過ごしたいと思います。よろしくお願い致します。

【中学校】

▽山田　俊彦＝片貝町の皆様お世話になります。この度、南魚・大和中学校の教頭から、新任の校長として着任いたしました。お世話になった先輩の先生方が校長として勤められた、伝統のある学校に勤務できることを幸せに思います。

学校が始まって、まだ十日ほどしか経ちませんが、恵まれた学校施設、あいさつや礼儀が素晴らしく、部活動に真剣に取り組む生徒、笑い声の絶えない教務室、そして地域の方から伝わる学校に対する熱い思いを感じました。これも前任の舘岡校長先生をはじめ、諸先輩が地域と一体となって築かれた伝統だと思います。

十三名の教職員と力を合わせ一人一人の子どもを大切にした教育を進めていきます。地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。自宅は三条ですが、単身赴任で小千谷の城内に住んでおります。

▽大矢　仁＝六日町立大巻中学校から来ました。今は片貝町に帰って来たというのが実感です。教科は全てのクラスの社会科を担当します。片貝町のいろいろな行事に参加して生徒たちを見つめてきました。明るく元気で行事に活き活きと参加している印象があります。これからは学校の一員として、保護者をはじめ地域のみなさんといっしょに片貝町のためにがんばります。また、地域の一員として、生徒や子どもたちとともにいろいろな行事に参加して行きたいと思います。秋、11月の町民駅伝大会をめざして、ある時は生徒とともに（後ろから）、またある時は一人で町のいろんな道を走っていますので、気がつかれたら、気軽に一声かけてください。

▽白井　洋子＝この四月より、片貝中学校に勤務させていただいております。今まで、和泉小学校勤務でしたので、片貝新聞を通して、片貝地区のことは、少しだけ知ってはいました。が、まさか、この地にお世話になるとは、夢にも思いませんでした。

私にとって、中学校勤務は初めての経験で、何もかもが新鮮です。そして、片貝中は、高台にあるので、見はらしも良く、気持ちよく仕事をさせていただいております。

あせらずのんびり地域に解け込みたいと思います。よろしくお願いいたします。

おせわになりました

【小学校】

▽大矢　孝子＝地元であり、母校である片貝小学校に七年間勤めさせていただき、大変ありがたかったです。素直で明るく元気いっぱいの子供たちと本当にたくさんの楽しい思い出を残すことができました。地域・保護者の皆様にはいつも力強く支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。この度、小千谷小学校へ転勤することになりましたが、片貝小学校での思い出を心に刻み、新任地でもがんばっていきたいと思います。これからは、片貝町の町民の一人として片貝の子供たちの成長を楽しみにし、見守り応援していきたいと思います。

▽渡辺　範子＝片貝小学校に六年間お世話になりました。みなさまのご協力、ご理解のおかげで仕事をさせていただき、心から感謝しております。ありがとうございました。

片貝での思い出はたくさんあります。子どもたちと楽しくすごした学校生活、PTAの方と力を合わせた環境整備…。何よりも皆様も力の集大成片貝祭りは毎年感服しながら見させていただきました。祭りの学習の際には町内の方から多大な協力をいただき、この場を借りてお礼申し上げます。

片貝町の皆様の今後のご健康ご活躍をお祈りします。

▽反町　秀行＝五年間片貝小学校、片貝町にお世話になりました。

明るく素直な子どもたち、学校のために一生懸命協力してくださる地域の方々と楽しく充実した時間を過ごすことができました。

「教育とスポーツの町」片貝で学校体育の仕事をさせていただいたので、多くの方と知り合うことができました。

片貝で勉強させていただいたことを生かして、新任校でも全力で仕事をしたいと思います。ありがとうございました。

▽高松　豊＝片貝小学校では、四年間お世話になりました。たいよう学年のみなさんと過ごした三年間は楽しい思い出がたくさんできました。最後の一年間は、ドリーム学年のみなさんと体育の学習をしたり、青空学年のみなさんと算数や社会の学習を楽しくやることができました。片貝小学校での思い出は、最高の宝物として大切にしていきたいと思っています。

今度の赴任地は、地元東蒲の西川小学校です。新任地でもがんばりたいと思います。大変お世話になりました。

▽小池　尚子＝片貝小学校には二年おいていただきました。短い間でしたが明るく向上心に満ちた子どもたち、陰ひなたなく力を尽くしてくださる保護者・地域の皆様に支えていただいて充実した二年間でした。

新任地は刈羽郡高柳町です。高柳小学校に籍をおき、高柳町教育委員会で派遣社会教育主事として社会教育行政の仕事をすることになりました。はじめての仕事でやや不安ではありますが、片貝で教えていただいた、地域とともに歩む姿勢を自分の中核におき一生懸命つとめたいと思います。

本当にありがとうございました。片貝町のさらなる発展を祈っております。

▽中野　夏子＝片貝小学校を最後に退職することになりました。昭和四十四年養護教諭としてスタートして三十三年が過ぎました。片貝小学校を最後にとは考えていたのですが、一年間だけとなってしまいました。大波で帰れるか心配した佐渡への修学旅行、沿道の人垣に驚き、ちょっと恥ずかしかった鼓笛パレード、いろいろなお店回りをしたもみの木祭など短い間でしたがたくさんの思い出ができました。

ありがとうございました。

▽広井　勝＝この春の異動で、小千谷中学校へ勤務する事になりました。四年間大変お世話になりました。明るい子供達と、心豊かな町内の皆様のお陰で、楽しい日々を過ごす事が出来ました。

新任地では、片貝小で学んだ事を生かして頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

▽山賀　ケイ子＝長年片貝小学校に勤めさせていただき、楽しく充実した日々を過ごさせていただきました。心から厚く御礼申し上げます。

この春の異動により、わかば保育園にお世話になる事となりました。新任地で精一杯がんばりたいと思います。

【中学校】

▽見附中学校校長　舘岡信男＝四季織りなす越後の山並みや恵みを施す越後平野を眺めながらの、大変充実した四年間でありました。

思い返せば、着任と共に中学校創立五十周年記念事業への準備が幸いしたように思います。

実行委員会を中心に多くの方々に接することができました。お陰で、片貝の方々の学校への期待や想いを肌で感ずることができましたし、学校へも随分協力して頂きました。

何より嬉しいのは、子どもたちが真直ぐに、逞しく成長してくれたことです。

本当にお世話になりました。今はただ感謝の気持ちで一杯です。

▽岩崎　均　見附市立見附南中学校へ転出＝片貝の地でお世話になり、はや四年が経ちました。素直で明るい生徒に囲まれ、大変幸せな毎日を送らせて頂きました。また、保護者の皆様、地域の皆様からも常々御協力を賜り、誠にありがとうございました。

中学校を卒業する生徒達の目は、片貝の外を向きがちです。新しく知る人や町への好奇心やあこがれがそうさせるのでしょう。しかし大人になった時、自分にしっかりとした故郷片貝の根が生えていることに気づくのだと思います。きっと今の片貝の大人達もそうだったのではないでしょうか。とてもうらやましいです。

▽松尾　由香＝熊倉奈美先生の代わりとしての一年は、本当にあっという間でした。

明るいあいさつと笑顔で始まる朝、パワーを与えてくれる生徒たちと、良きアドバイスをくれる周りの方々に助けられながらの毎日でした。

やっと流れがわかってきたこれから、という時に別れるのは、さびしい事だけれどまた新しい場所で、いろいろな人達の声を受け止めながら自分も成長できたらいいなと思っています。

一年間でしたが本当にお世話になりました。

▽長岡市立北中学校へ　事務職員　田村恵理子＝あっという間の三年間、楽しく勉強になる本当に素晴らしい片貝中勤務でした。

初めての中学校で何もわからない状態で右往左往しつつ、失敗を多く繰り返し、小さな成功をちょっとずつ積み重ねて、自分なりに成長できたのでは思っています。

片貝という地域は温かく学校をいつも大切に見守っていると諸行事を拝見しながら感じてきました。

このままその伝統が引き継がれていくことを願い勤務できたことに感謝していきたいです。ありがとうございました。

お断わり

紙面の都合により「ヒューマンウォッチング」と「ハローベイビー」は休みます。